

2023 年度事業計画

3年目となる「ちばし地域づくり大学校」企画運営事業は、修了者数も多くなりフォローアップのしきみを充実させていきます。昨年度は四街道市みんなで地域づくりセンター業務を担うコーディネーターの交代があり引継ぎ、研修などを行ってきましたが、新しいメンバーの活躍に期待します。また、八街市協働のまちづくりコーディネーター育成事業では、これまでの経験を活かし、メンバーの市民性、当事者性を発揮できるよう研修支援を行います。

1. 組織の運営

- ・ 賛同会員加入の呼びかけを相談、講座参加など関わりを持つ機会を捉えて確実にを行います。
- ・ 理事会は、年5回開催、新型コロナウイルス感染状況によりオンライン開催も考慮します。
 - 第1回：7月20日（木）・年間事業計画の具体的な進め方について
 - 第2回：9月21日（木）・中間報告と下期の進め方について
 - 第3回：12月21日（木）・年度末までの計画について
 - 第4回：3月22日（金）・今年度報告、次年度計画について
 - 第5回：5月16日（木）・第24回総会議案について
- ・ 事務局運営は、各事業を複数で担当し、事務局会議を開催(月2回)、事業の進捗確認や課題共有をします。また、4月に新規スタッフを迎えたことを契機にスキルアップをはかります。
- ・ これまでの就業規則の見直しを図り、継続して働きやすい環境をつくり、リスクマネジメントに対応できるようにします。

2. 相談事業・NPOの支援事業

① 相談事業

- ・ 団体運営に関わる相談は電話、メール、面談等で常時受け付け、内容によっては専門家(税理士、社会保険労務士、弁護士)の協力を得て対応します。
- ・ NPOの事務力(会計処理、労務管理、法務局・所轄庁手続き等)をサポートするために、事務局全体で共有し専門性を高めます。
- ・ 行政が掲げる市民協働、市民活動推進に関わる研修やセミナー企画等の相談に対応します。
- ・ ちばソーシャルビジネス支援ネットワークに参画し、公益財団法人ちばのWA地域づくり基金、日本政策金融公庫、中央労働金庫、千葉信用金庫、銚子信用金庫、東京ベイ信用金庫と協力し、NPOの資金調達(助成金、融資)、設立等の相談に対応します。「ソーシャルビジネス相談会」の開催に協力します。

② 講座事業

- ・ 令和5年度地域人材育成事業「ちばし地域づくり大学校」(千葉市高齢福祉課主催)を受託、地域福祉活動の担い手を育成する基礎コース(20名×2クラス)、入門コース(20名×1クラス)、リーダーを養成するステップアップコース(30名×1クラス)を企画運営します。受講者募集を確実に進めます。修了者フォローアップのひとつとして情報交流をすすめるメーリングリストを開設運営します。
- ・ 「千葉県市民活動団体マネジメント事業」に企画提案、NPOや法人の事務力を高め、社会的な信用度を向上させるため適正な運営ができる団体を増やします。また、講座終了後に個別相談を受けサポートします。多くの団体が受講できるよう後日視聴を可能とし、動画編集スキルをアップします。

③ 講師派遣

- ・ 各市が開催する市民活動参加を促すための「市民活動セミナー」に講師を派遣します。
(千葉市、コミュニティカレッジさくら、習志野市市民カレッジ、とみさと協働塾、野田市市民活動支援センター主催講座)
- ・ NPOのマネジメントに関する講師を派遣します。

3. 被災地・被災者支援事業

① 福島県避難者支援、相談事業

- ・ 「福島県県外避難者への相談・交流・説明会」事業を継続し、福島県から千葉県内に避難している方（1,342名）へ情報提供、相談対応を行います。また、福島県担当課と県内市町の担当課を訪問し避難者支援情報を伝えます。アンケートで得られた情報をもとに戸別訪問をすること、地域で小さな交流会を開催して孤立を予防します。県内の支援活動団体間（6団体）でイベント、サロン開催等の支援情報や避難者の状況について情報交換し、支援力を高めます。県内の避難者に配布する情報紙「縁joy」を隔月（No.90～No.95）各2,000部発行、当事者に届けます。
- ・ 交流イベント『縁joy交流会』を県内支援団体と協力して、きぼーるアトリウムで10/28開催します。
- ・ 福島県避難者住宅確保・移転サポート事業では、自主避難者家賃補助終了に伴う住宅に関する相談を受け、福島県担当者や福島県復興支援員と連携して取組みます。

② 災害支援ネットワークちば（CVOAD）事務局について

千葉県内の中間支援組織や社会福祉協議会、自治体など多様な主体とともに、平時からのつながりをつくり、災害時にスムーズな支援活動ができることをめざします。三者連携（行政、社協、NPO）や他地域の事例から学ぶ学習会や意見交換会などをおして、交流を図りながら活動を広めます。今年度はWAM助成金を活用し、NPOクラブ事務所内に事務所を置き、体制を整備します。

4. 地域づくりのコーディネート事業

① 四街道市地域づくりコーディネーター業務委託事業

みんなで地域づくりセンター運営事業は2023年まで受託、コーディネーター5名、サポートスタッフ3名、相談担当スタッフ1名の体制で市政推進課と協働して取組みます。コーディネーター会議は毎月2回開催し、事業の企画・進捗管理・課題の共有をもとに日常業務をすすめます。地域課題への取組みのプロデュースと地域づくりを担う主体のネットワークづくりについて重点的に実施します。

- ・ 「コラボ四街道」（協働事業提案制度）実施事業のサポートや市民活動団体からの新しい企画提案を促すために、「みんなで地域づくりセミナー」を企画します。市民活動団体に受入れの協力を呼びかけて、市民活動ボランティア体験会を企画、出会いの場をつくります。
- ・ 自治会情報交換会を開催、コロナ禍で停滞した活動もありIT活用をすすめます。地域の中の困りごとは、自治会だけでなく様々な主体との協働が有効であると考え、事例をもとに解決策を探ります。
- ・ 四街道市地域支え合い推進会議に参画し、地域包括支援センター等関係機関と協力します。
- ・ 認知症になっても安心な地域づくりを進めるため、市民が介護や認知症の知識を深めるための学習会や講演会を開き、関係機関とも連携します。
- ・ 市内在住外国人との交流や災害時の支援などについて、支援団体や関係機関と連携して進めます。
- ・ 子ども支援交流会、講演会等を開き、子ども支援のネットワークをさらに進め、子どもを取り巻く様々な課題に対して、行政や関係機関とも連携して話し合う場を開きます。
- ・ 「みんなで災害支援ネットワーク」のメンバー相互の交流をはかり、平時から声を掛け合える関係づくりを市民団体、行政、社協（ボランティアセンター）と連携、学習会や情報交換、情報収集を行います。（オープンチャットLINEグループ活用/45名）
- ・ アートを活かしたまちづくりをテーマに、四街道市ふるさとまつりでは市民が参加する提灯アート制作に協力します。まちの中にある身近なアートに注目することで、地域に愛着が湧くまちづくりを進めます。

- ・ 「大きなテーブル」は福祉施設の紹介・販売のみでなく、他団体、他事業者、市民とのつながりをつくること、ものづくりにおける連携を目指し、実行委員会で取組みます。大きなテーブルは6/17、またちばユニバーサル農業フェスタ9/18開催に協力します。
- ・ 情報誌『みんなで』（36号～38号）を3回発行し、より多くの市民に地域づくりの情報を届けます。
- ・ ホームページ、ブログ、Facebook、ツイッター、インスタグラムなどを活用し、地域づくり情報を効果的に発信します。（ホームページのリニューアルは7月オープン予定）
- ・ ホームページのトップページに「みんなでカレンダープロジェクト」を置きます。
- ・ 団体基本情報をホームページで公開し、市民の関心と理解を深め活動への参加につなげます。
- ・ オンラインによる新しい情報発信やコミュニケーションの方法の活用を進めます。
- ・ 相談は常時受け付け、気軽に相談を受けられる工夫をします。会計相談は日程調整をして対応します。市役所の各担当課および関係機関と連携して相談対応にあたります。
- ・ 視察・職場体験、インターンシップなどの受入れを行い、地域の学校との連携を図ります。
- ・ 市民大学講座受講者へ情報誌「みんなで」および主催講座チラシ等の配布を行い、地域づくりやセンターの役割について伝える機会をつくります。

② 多世代交流拠点「おおなみこなみ」運営事業

- ・ 開設から10年目（自主事業5年目）となり、ボランティアスタッフの意欲的な協力で継続します。生活クラブ子ども食堂基金助成を受けて「あおぞら市」を開催します。引き続きコロナ感染防止対策をはかり、介護予防の健康体操、「まちの談話室」、シニア英会話、検見川の歴史講座等、場を活用して人々の交流を図ります。新しく講座を開きたいという問合せもあり、さらなる「場」の活用をすすめます。
- ・ 県内の福祉事業所5団体の協力を得て、販売事業を継続します。
- ・ 生活クラブ千葉グループ「安心システム街の縁側」に登録します。

③ 全国ボランティア推進団体会議「民ボラ」開催について

ボランティアを推し進めるうえでのさまざまな課題を協議、ボランティア推進団体、中間支援団体などの役割、運営のあり方を考える場として連携、世話人団体として協力します。今年度は「民ボラ in 山梨」テーマは「大丈夫か日本!?～平和と公共を築く市民活動」7/22, 23開催。

④ 生活クラブ安心システム地域づくり(コミュニティデザイン)事業について

社会福祉法人生活クラブから受託し、風の村さくらがある佐倉市内郷地区でコミュニティデザインの手法により、地域資源に見える化し、地域の人から話を聴き、新しい地域活動を生み出します。(2021/9月～2023/8月) さくら冒険基地の竹林整備活動やイベント(筍掘り、竹灯籠づくり、門松づくり)、地域食堂を開催し、交流をすすめます。

⑤ SAVEJAPAN プロジェクト事業について

この事業は、損保ジャパン、日本NPOセンター、全国の環境保全団体、中間支援団体が協働で取り組み、「みんなで守ろう！日本の希少生物種と自然環境」を目的にNPO法人ちば環境情報センターと「千葉市内に残された谷津田の命の賑わいとつながり」をテーマに実施します。(2021/9月から2023/9月)

⑥ 八街市協働のまちづくりコーディネーター育成事業について

八街市が設置する「協働のまちづくりPiT(仮称)」を担うコーディネーター5名の研修事業を受託、6月オープンにむけて4月から研修プログラムを企画、実施します。

⑦ ふるさとプロボノ事業について

認定NPO法人サービスグラントが実施している「ふるさとプロボノ」事業に連携して取組みます。農林水産業の体験を通して農山間部の地域活動を強化する目的で、一人から参加できる体験型プロボノプロジェクトです。受入れ団体の掘り起こし、プロボノワーカーの募集、マッチング、団体支援のサポートを、千葉県のコーディネーター団体として行います。これまで関わっているプ

ロボノワーカーへは運営への関わりを含め、広く参加を呼びかけます。

5. 広報事業

- ・ ニュースレター「つぎの一步くん」各号テーマを決めて編集、年4回（4月、7月、10月、1月）各800部を発行します。会員に配布する以外に県内市町村市民活動サポートセンターやボランティアセンター、行政担当窓口や関連機関に配架依頼し、全国の中間支援組織などに送付します。
- ・ メールマガジンは会員や講座受講者などの配信希望者548名宛に月1～2回配信します。掲載する情報はNPOクラブが主催するセミナーや会員、行政、関係機関からの助成金、イベント情報等を収集し提供します。講座参加者・団体など配信先を適時追加し、より広く情報提供します。
- ・ 千葉の公益ポータルサイト「ちばNPO情報館」の登録団体（112団体）には、各団体の公開情報の更新を呼びかけ、メールによる情報提供を行います。
- ・ 団体ホームページ、「ちばし地域づくり大学校」ホームページ、ブログ「NPOクラブ こんなこと あんなこと」「縁joy東北～エンジョイ東北」を適時更新します。
- ・ 団体、おおなみこなみ、CVOADのFacebookページや団体のTwitterでは、主催するイベント、セミナー等の開催案内や活動状況を動画なども活用しながら効果的に情報発信し、広く参加を呼びかけます。
- ・ 千葉日報社の情報ポータルサイト「ちばとび！チャンネル」内の「CHIBAKARA～ちばからチャンネル」に記事提供、より広い層が市民活動に関心を持てるよう情報発信を行います。

6. 他組織、他団体との連携・協力事業

① NPO法人地域創造ネットワークちばの事務局業務

NPO法人地域創造ネットワークちばの事務局を担い、第13回ちばユニバーサル農業フェスタを9月18日（祝・月）に四街道市文化センターで開催予定です。また、つながる経済フォーラムに世話人団体として参画、非営利分野、営利事業者ともに社会課題に向き合う場、学びあう場をつくりまします。

② その他の組織、団体との連携

- ・ 公益財団法人ちばのWA地域づくり基金が実施する寄付募集プログラムや助成プログラムの広報等に協力します。
- ・ 生活クラブ千葉グループ協議会に参画し、情報交換や交流し地域づくりに貢献します。つながる経済フォーラム世話人会、ちば社会的連帯経済研究所の活動に協力します。
- ・ 千葉県市民活動支援組織ネットワーク会議に参画し、県・市町の市民活動センターや中間支援組織との連携を図り、支援力の強化をすすめます。
- ・ 千葉県社会福祉協議会の政策調整委員、千葉県地域ぐるみ福祉振興基金助成事業運営委員に就任します。
- ・ 県・市の市民参加、協働関連の委員等の就任要請に対応します。関連する施策や制度について中間支援組織の立場から発言し、協働による地域づくりに貢献します。
松戸市協働のまちづくり協議会、印西市まちづくりファンド選考委員会、大網白里市住民協働事業審査会、千葉市緑区補助金審査アドバイザー、習志野市協働推進委員会、市原市市民活動・協働推進委員、浦安市まちづくり活動プラザ特定区画利用団体事業評価委員会、千葉県支援組織ネットワーク協議会幹事
- ・ NPO法人千葉県障害者就労事業振興センター監事（勝又）

NPO 法人ほっとハート監事、生活クラブ生協千葉監事（鍋嶋）に就任します。

- ・ NPO 法人多文化フリースクールのアドバイザー就任（鍋嶋）
（PanasoniNPO/NGO サポートファンド 組織基盤強化助成）

『2023 年度活動予算案』

- ・ 事業収益合計：37,445,000 円、事業費は 30,824,500 円、管理費は 5,883,000 円
経常費用合計：36,707,500 円 経常損益：747,500 円
- ・ 役員報酬額について総会での決議事項となっています。
代表理事：2,616,000 円
副代表理事、専務理事 2,616,000 円

収入として予算化した内容は以下になります。（その他付随収入は除く） 37,330,000 円

- ・ 賛同会費 350,000 円、寄附収入 600,000 円、運営会費収入 455,000 円
- ・ 四街道市地域づくりコーディネーター業務委託事業 9,967,650 円
- ・ 福島県県外避難者への相談・交流・説明会事業 7,866,000 円
- ・ 避難者住宅確保・移転サポート業務委託 110,000 円
- ・ ちばし地域づくり大学校 10,896,000 円
- ・ 千葉県市民活動団体マネジメント事業 950,000 円
- ・ 八街市協働のまちづくりコーディネーター育成事業 1,860,000 円
- ・ 社会福祉法人生活クラブ風の村コミュニティ・デザイン事業 612,500 円
- ・ SAVE JAPAN プロジェクト事業 1,200,000 円
- ・ プロボノ事業 400,000 円
- ・ おおなみこなみ運営事業 945,000 円
- ・ 事務受託事業 120,000 円
- ・ その他事業収入（講師派遣、委員謝金等） 1,000,000 円